野辺地マコガレイ種苗作出試験

高橋進吾¹

目 的

野辺地産のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流により陸奥湾系群の資源造成を図る。

材料と方法

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

野辺地地先で漁獲された雌 9 尾、雄 6 尾、計 15 尾のマコガレイ親魚を当研究所に搬入し、平成 26 年 12 月 17 日に人工採卵・授精を行い、そのふ化仔魚を用いて仔稚魚の成長と生残を調査した。

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚を当研究所の陸上水槽を用いて平成 27 年 3 月 18 日から中間育成を行い、平成 27 年 5 月 14 日に野辺地地先に放流した。

結果と考察

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

ふ化仔魚 6.0 万尾 (ふ化率 82%) を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 26.3mm、1.4 万尾の稚魚が得られ、生残率は 23.3% であった (表 1)。

表1 マコガレイ種苗生産結果

ふ化仔魚の収容			取り上げ稚魚				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	
H27.1.3	4.0	6.0	H27.3.18	74 日	26.3	1.4	23.3

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚 1.4 万尾を用いて、平成 27 年 3 月 18 日から中間育成を開始した。

陸上水槽を用いて 57 日間の飼育を行い、平成 27 年 5 月 14 日に平均全長 49.1 mm に成長した稚魚計 1.3 万尾を野辺地漁港内に放流した (表 2)。

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

開 始				終了(放流)				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	使用水槽	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
H27.3.18	26.3	14,000	円型30t・1面	H27.5.14	57 日	49.1	13,000	92.9